

平成21年10月期 第1四半期決算短信

平成21年3月5日

上場会社名 株式会社 京王ズホールディングス
 コード番号 3731 URL <http://www.keiozu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 英輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 深野 道照
 四半期報告書提出予定日 平成21年3月13日

市場取引所 東

TEL 022-722-0333

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年10月期第1四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第1四半期	2,928	—	79	—	67	—	48	—
20年10月期第1四半期	3,319	△21.8	36	△35.4	24	△45.8	△9	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第1四半期	1,150.17	1,094.05
20年10月期第1四半期	△309.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第1四半期	5,297	1,263	22.4	27,870.74
20年10月期	5,879	1,207	19.7	26,833.21

(参考) 自己資本 21年10月期第1四半期 1,188百万円 20年10月期 1,138百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年10月期	—	—	—	—	—
21年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年10月期の配当につきましては、未定となっております。

3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	6,325	△8.4	137	110.8	102	148.8	86	65.4	2,027.44
通期	11,708	△7.2	256	65.2	185	81.4	151	88.8	3,578.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年10月期第1四半期	42,646株	20年10月期	42,418株
② 期末自己株式数	21年10月期第1四半期	—株	20年10月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年10月期第1四半期	42,466株	20年10月期第1四半期	30,413株

※ 平成21年10月期の配当につきましては、連結業績予想のとおりコスト部分のスリム化等、無駄の取除きを図り営業利益の増加を見込んでおりますが、現時点におきましては、配当は未定であります。決定次第、開示致します。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・業績予想に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、記載数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(連結経営成績サマリー)

(百万円未満切捨て)

	平成20年10月期 第1四半期	平成21年10月期 第1四半期	前年同期比 (%)
売上高	3,319百万円	2,928百万円	△11.8
営業利益	36百万円	79百万円	120.8
経常利益	24百万円	67百万円	172.4
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△9百万円	48百万円	—

(注) 定性的情報における前年数値及び比率は参考として記載しております。

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な景気後退の波が日本を直撃し、企業収益は急激に悪化の傾向を示して、個人消費が冷え込んでおります。

このような状況の中、当社グループはコストの削減に努め、販売費及び一般管理費は383百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における当社グループの売上高は2,928百万円（前年同期比11.8%減）となりましたが、営業利益は79百万円（前年同期比120.8%増）、経常利益は67百万円（前年同期比172.4%増）、四半期純利益は48百万円（前年同期は、9百万円の損失）となっております。

なお当社は、平成20年12月26日付で第4回新株予約権（MSワラント）を発行しており、また、平成21年1月28日付で自己株式の取得について決議しております。その状況につきましては、平成21年1月5日、2月2日、及び3月2日付の開示資料をご参照ください。

事業の種類別セグメントにおける業績は、以下のとおりです。

① 移動体通信事業

・売上高	2,797百万円	(前年同期比9.3%減)
・営業利益	130百万円	(前年同期比232.6%増)

移動体通信事業につきましては、携帯電話端末の買替えサイクルの長期化の影響、及び昨年8月に行いました新潟地区7店舗の譲渡により売上高の減少が見られますが、前期に行いました店舗賃料等のコスト改善効果により、売上高2,797百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益130百万円（前年同期比232.6%増）となりました。

② テレマーケティング事業

・売上高	99百万円	(前年同期比50.0%減)
・営業利益	△28百万円	(前年同期比 —)

テレマーケティング事業につきましては、主力保険商材において景気後退の影響等がありましたが、当社グループでは、コンプライアンス体制の強化による他社との差別化を一層進めております。売上高99百万円（前年同期比50.0%減）、営業損失28百万円（前年同期は17百万円の利益）となりました。

③ 不動産賃貸事業

・売上高	31百万円	(前年同期比9.8%減)
・営業利益	8百万円	(前年同期比37.8%減)

不動産賃貸事業につきましては、売上高は31百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は8百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(百万円未満切捨て)

	平成20年10月期末 (平成20年10月31日)	平成21年10月期 第1四半期末 (平成21年1月31日)	増減額
資産合計	5,879百万円	5,297百万円	△582百万円
負債合計	4,672百万円	4,033百万円	△639百万円
純資産合計	1,207百万円	1,263百万円	56百万円

当第1四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して、流動資産は517百万円減少し1,754百万円、固定資産は64百万円減少し3,542百万円となりました。これは主に売上債権の減少、のれんの償却によるものであります。その結果、総資産額は582百万円減少し、5,297百万円となりました。なお、「その他有価証券」のうちの時価のあるものは前連結会計年度より保有しておりません。

負債の状況は、流動負債は490百万円減少し2,996百万円、固定負債は148百万円減少し1,037百万円となりました。これは主に短期借入金の返済によるものであります。その結果、負債総額は639百万円減少し4,033百万円となりました。

純資産の状況は、56百万円増加し、1,263百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨て)

	平成20年10月期 第1四半期	平成21年10月期 第1四半期	前年同期比 (%)
営業活動による キャッシュ・フロー	148百万円	92百万円	△37.7
投資活動による キャッシュ・フロー	12百万円	217百万円	1,653.4
財務活動による キャッシュ・フロー	△258百万円	△325百万円	25.9

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して15百万円減少し53百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、92百万円となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、217百万円となりました。これは主に定期預金の払戻しによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、325百万円となりました。これは主に短期借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間の業績と当初予測数値との間に大きな差異はございませんので、第2四半期連結累計期間、通期とも当初の計画（平成20年12月11日付の決算短信で公表）を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準第13号)および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

表示方法の変更

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において流動負債の「仮受金」に含めておりました移動体通信事業における料金収納金等170百万円は、取引実態をより明瞭に示すため、当第1四半期連結会計期間より流動負債の「預り金」に含めて表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	163,503	368,753
売掛金	1,161,629	1,516,295
商品	145,255	99,669
その他	284,199	290,877
貸倒引当金	—	△3,550
流動資産合計	1,754,587	2,272,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	432,686	447,189
車両運搬具(純額)	3,199	3,476
工具、器具及び備品(純額)	86,325	97,243
土地	580,246	580,246
建設仮勘定	4,725	4,725
有形固定資産合計	1,107,182	1,132,880
無形固定資産		
のれん	1,882,488	1,909,149
その他	126,423	134,251
無形固定資産合計	2,008,911	2,043,401
投資その他の資産		
長期貸付金	110,467	115,790
敷金及び保証金	298,953	303,356
その他	24,298	14,291
貸倒引当金	△6,836	△1,785
投資その他の資産合計	426,884	431,652
固定資産合計	3,542,978	3,607,934
資産合計	5,297,566	5,879,979

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	845,187	1,101,667
短期借入金	1,044,000	1,265,000
1年内返済予定の長期借入金	332,343	286,088
未払金	308,371	307,812
預り金	213,428	32,779
仮受金	1,011	241,440
賞与引当金	18,538	25,304
短期解約違約金損失引当金	3,403	5,964
未払法人税等	19,842	25,503
未払消費税等	61,998	53,764
その他	147,981	140,996
流動負債合計	2,996,106	3,486,321
固定負債		
社債	250,000	275,000
長期借入金	679,217	803,804
その他	108,275	107,581
固定負債合計	1,037,492	1,186,385
負債合計	4,033,598	4,672,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,129,972	1,983,550
資本剰余金	753,646	1,947,645
利益剰余金	△695,043	△2,792,984
株主資本合計	1,188,575	1,138,211
新株予約権	198	—
少数株主持分	75,193	69,061
純資産合計	1,263,967	1,207,272
負債純資産合計	5,297,566	5,879,979

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)
売上高	2,928,934
売上原価	2,465,452
売上総利益	463,482
販売費及び一般管理費	
給料手当及び賞与	179,614
賞与引当金繰入額	11,394
福利厚生費	26,092
地代家賃	54,939
その他	111,511
販売費及び一般管理費合計	383,552
営業利益	79,930
営業外収益	
受取利息	1,711
出資金運用益	3,946
コミッション譲渡益	9,523
その他	1,209
営業外収益合計	16,391
営業外費用	
支払利息	15,676
新株発行費	5,958
その他	7,084
営業外費用合計	28,719
経常利益	67,602
特別利益	
固定資産売却益	208
特別利益合計	208
特別損失	
店舗整理損	7,989
貸倒引当金繰入額	1,500
減損損失	186
特別損失合計	9,676
税金等調整前四半期純利益	58,134
法人税等合計	3,159
少数株主利益	6,132
四半期純利益	48,842

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年11月1日
至平成21年1月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	58,134
減価償却費	33,339
減損損失	186
のれん償却額	26,661
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,766
短期解約違約金損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,561
受取利息及び受取配当金	△1,711
支払利息	16,710
固定資産売却損益 (△は益)	△208
店舗整理損	7,989
売上債権の増減額 (△は増加)	354,666
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△45,585
仕入債務の増減額 (△は減少)	△256,479
預り金の増減額 (△は減少)	180,649
仮受金の増減額 (△は減少)	△240,429
その他	△21,301
小計	104,793
利息及び配当金の受取額	2,069
利息の支払額	△8,897
法人税等の支払額	△5,253
法人税等の還付額	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10,000
定期預金の払戻による収入	200,000
有形固定資産の売却による収入	208
無形固定資産の取得による支出	△189
敷金及び保証金の差入による支出	△2,888
敷金及び保証金の回収による収入	6,939
貸付金の回収による収入	23,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	5,000
短期借入金の返済による支出	△226,000
長期借入金の返済による支出	△78,331
社債の償還による支出	△25,000
配当金の支払額	△4
新株予約権の発行による収入	△2,857
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,370
現金及び現金同等物の期首残高	68,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,053

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業的前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

	移動体 通信事業 (千円)	テレマーケ ティング 事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,797,994	99,364	31,574	2,928,934	—	2,928,934
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	342	342	(342)	—
計	2,797,994	99,364	31,917	2,929,277	(342)	2,928,934
営業利益又は 営業損失(△)	130,576	△28,493	8,149	110,232	(30,302)	79,930

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

- (1) 移動体通信事業・・・移動体通信端末の販売、移動体通信サービスの契約取次
- (2) テレマーケティング事業・・・コールセンターによるテレマーケティング事業
- (3) 不動産賃貸事業・・・ショッピングモールのテナントからの賃貸収入事業

2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年1月27日付で、資本金854,338千円、資本準備金1,947,645千円の減額を行っております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が1,129,972千円、資本剰余金が753,646千円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日)
	金額(千円)
I 売上高	3,319,391
II 売上原価	2,835,814
売上総利益	483,576
III 販売費及び一般管理費	
1 給与及び手当	207,689
2 賞与引当金繰入額	19,897
3 地代家賃	70,601
4 その他	149,189
販売費及び一般管理費	447,377
営業利益	36,198
IV 営業外収益	
1 受取利息	1,359
2 出資金利益	3,595
3 その他	14,797
営業外収益合計	19,752
V 営業外費用	
1 支払利息	19,539
2 その他	11,594
営業外費用合計	31,133
経常利益	24,817
VI 特別利益	
1 固定資産売却益	10,489
2 その他	2,126
特別利益合計	12,616
VII 特別損失	
1 店舗整理損	3,759
2 前期損益修正損	297
特別損失合計	4,056
税金等調整前四半期純利益	33,376
法人税、住民税及び事業税	35,357
少数株主利益	7,441
四半期純損失	△9,422

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日)
	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	33,376
2 減価償却費	38,671
3 のれん償却費	26,661
4 貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 12
5 賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 28,436
6 短期解約違約金損失引当金の増減額 (△は減少)	7,857
7 受取利息及び受取配当金	△ 1,359
8 支払利息	20,745
9 固定資産売却益	△ 10,489
10 店舗整理損	3,759
11 売上債権の増減額 (△は増加)	△ 604,607
12 たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 152,049
13 前払費用の増減額 (△は増加)	3,736
14 未収入金の増減額 (△は増加)	32,716
15 未収消費税等の増減額 (△は増加)	4,770
16 未払消費税等の増減額 (△は減少)	△ 12,624
17 仕入債務の増減額 (△は減少)	926,144
18 未払金の増減額 (△は減少)	△ 101,390
19 その他	△ 21,176
小計	166,291
20 利息及び配当金の受取額	439
21 利息の支払額	△ 15,850
22 法人税等の支払額	△ 2,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,843
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△ 35,934
2 有形固定資産の売却による収入	55,095
3 無形固定資産の取得による支出	△ 14,645
4 貸付による支出	△ 8,100
5 敷金及び保証金の回収による収入	15,983
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,398
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	△ 264,437
2 長期借入金の返済による支出	△ 112,000
3 長期未払金の返済による支出	△ 1,086
4 株式の発行による収入	195,019
5 社債の償還による支出	△ 75,000
6 配当金の支払額	△ 13
7 その他	△ 1,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 258,537
IV 現金及び現金同等物の増減額	△ 97,296
V 現金及び現金同等物の期首残高	300,804
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	203,507

(3) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日）

	移動体 通信事業 (千円)	テレマーケ ティング 事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,085,805	198,561	35,023	3,319,391	—	3,319,391
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	342	342	△342	—
計	3,085,805	198,561	35,366	3,319,733	△342	3,319,391
営業利益又は 営業損失(△)	39,261	17,620	13,094	69,976	△33,777	36,198

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

- (1) 移動体通信事業・・・移動体通信端末の販売、移動体通信サービスの契約取次
- (2) テレマーケティング事業・・・コールセンターによるテレマーケティング事業
- (3) 不動産賃貸事業・・・ショッピングモールのテナントからの賃貸収入事業

2. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。